

事業概略書

事業名	障がいを持つ音楽家および作品の評価向上・普及促進事業 —ICTを利用した支援のあり方の研究
事業目的	<p>2003 年以降 5 回にわたり、障がい者が出場する全国規模の音楽コンテストを開催した。この企画・運営を通して、多くの障がいをもつ音楽家を発掘し、その作品を一般に紹介することによって、音楽家および作品に対して、一般聴衆から評価を得るに至った。</p> <p>今後、より広範囲で音楽家を発掘し、音楽家および作品の評価を向上させる必要性を充足するため、障がいに対する支援、音楽活動に対する支援についてのニーズを調査する。</p> <p>音楽コンテストの実施を通して、音楽家への支援に関する方法論を研究することにより、音楽家の自立・社会進出の促進に資することを目的とする。</p>
事業概要	<p>重度筋ジストロフィーの法人代表が、障がいをもつ音楽家の個性と才能に感銘を受け、仲間に声をかけて音楽家を発掘し、コンテストを開催することによって、作品を一般聴衆に紹介し、ある程度の評価を得るに至った。</p> <p>そこで、次の段階としてより広く発掘し評価を向上させる必要性がでてきた。</p> <p>① データベースの作成 ② 専用ホームページにおける公開 ③ コンテストのインターネット生放送 ④ 教育用DVDの制作・配布</p> <p>を通して、障がい当事者の代表らを中心にこれまでのネットワークを活かした企業、教育関係者、音楽業界の方の協力のもと、調査・研究をする。そして、研究成果を障がいを持つ当事者および家族、教育関係者などに向けて公表することにより、同音楽家の自立・社会進出の促進に資する。</p>
事業実施結果及び効果	<p>●事業実施結果</p> <ol style="list-style-type: none"> 障がいを持つ音楽家が望む ICT を利用した支援とは、インターネットによる広報・宣伝活動であった。根拠は、「知ってほしい、聞いてほしい」からである。 障がいを持つ音楽家に提案できる ICT を利用した支援には、ホームページ制作、作品紹介サイトへのアップロードサポートなどの技術的支援、広報・宣伝に直接関わる人的支援などがあった。根拠は、音楽家本人が「インターネットによって地理的ニーズを解決したい」からである。 <p>●事業実施効果</p> <ol style="list-style-type: none"> アンケートの回答者に報告することによって、障がい者自身が支援を考えるきっかけにできた。 専門委員による研究会のための資料を作成することによって、支援者や周囲が支援を検討する材料にできた。
事業主体	<p>〒102-0084 東京都千代田区二番町 11-1-505 号 特定非営利活動法人日本バリアフリー協会 TEL:03-5215-1485 E-MAIL:kaiya@npjba.org</p>